

ご挨拶

皆様こんにちは、第4回東京・南関東学術集会会長の西山隆久です。今回は当初の会場を変更し、西新宿の東京医科大学病院教育研究棟（自主自学館）で現地開催いたします。また後日録画放送（オンデマンド）も行います。東京医科大学は母校であり、当院ペインセンター教授大瀬戸清茂先生に実行委員長をお願いいたしました。

コロナの制限が外れ、第3回（新堀会長）や総会（佐賀・平川会長）も盛会でした。

古今東西制限が外れる時期に、大きな変化が起きています。そこで今回のテーマは、「制限を外す～人、コト、ものづくり」としました。現在のペインクリニックの障壁（制限）を外すことに焦点を当て、講演をお願い致しました。講演は（順不同）、周術期区域麻酔とペインクリニックでの神経ブロックの垣根について昭和大学横浜市北部病院 麻酔科 教授 信太賢治先生、がんサバイバーの慢性疼痛診療について信州大学がんセンター緩和部門教授 間宮敬子先生、内視鏡で見える新しいペインクリニック治療の可能性をNTT 東日本関東病院主任医長 上島賢哉先生、頸部硬膜外のエコーの実践と頸部のエコー診断（エキスパートハンズオン）をまえた整形外科（奈良市）院長 前田学先生、神経障害性疼痛診療の意義と実践について東京大学医学部附属病院 准教授 緩和ケア診療部長 住谷昌彦先生にお話頂きます。一般演題の座長には若手の先生方にもお願いしました。オンデマンドは特典映像として、VR・メタバース・オンライン診療などのクリニックでの新たな取り組みについてみしま痛み&リハビリクリニック院長 寺田哲先生、理学療法士による運動器疼痛の病態診断とペインクリニックにおける実践について西鶴間メディカルクリニック リハビリテーション科 江原弘之先生をお願いいたしました。一般演題も皆様の貴重なご経験や研究を発表して頂き、若手座長の先生と共に、和気藹々とした中で活発な意見交換ができたらと思っています。市民公開講座も現地にて開催いたします。

今回は現地開催と録画放送（オンデマンド）とすることで、現地でしか経験できない体験、録画放送で時間・空間の制限のない世界を味わっていただければと存じます。特に若手の皆様、ぜひ参加して下さい、きっと大切な何かを得ると確信しています。今回は現地の開催時刻を今までより約1時間早めて開催します。当会では初の懇親会も開催いたします。皆さまお誘いあわせの上、参加をお待ちしております。

2024年1月
一般社団法人日本ペインクリニック学会
第4回東京・南関東支部学術集会
会長 西山 隆久
西東京中央総合病院 麻酔科